

学童保育29施設へ児童書



寄贈された本を読む児童（27日）

「夏休みにたくさん読みたい」

YC寄付金

読売新聞販売店（YC）の寄付金で購入した児童書セット（全40冊）が全国の学童保育施設に寄付され、県内では29施設に贈られる。

4回目となった今年は、全国約5800件の応募から2000施設が選ばれた。児童書は、読売KODOMO新聞の書評コーナー「本屋さんイチオシ」で紹介した本を中心に選ばれている。

寄贈先の一つ、甲府市下飯田の認定こども園「甲府西幼稚園」内の放課後児童クラブでは、夏休み期間中は毎日、30分以上読書の時間があるという。同クラブの中村新太さん（29）は「クラブには本が少なかったもので、ありがたい。子どもたちには少しでも多く本を読んでほしい」と話した。

夢中で本を読んでいた、小学3年の八朔奈緒さん（8）は「本が好きなので、夏休み中にたくさん読みたい」と笑顔だった。